

# 会議録

令和4年8月17日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和4年度第2回定例会
開催日時	令和4年6月15日(水) 18時30分から20時30分まで
開催場所	柳沢公民館 視聴覚室
出席者	委員：西原みどり(会長)、ギログリー江美(副会長)、荒井茂、谷関幸子、小須田厚子、海老澤裕恵、石川健、青木美紀子、渡部國夫、小沼純子、荒井容子、高井正 職員：福所館長、國府方館長補佐(芝久保分館長)、市川事業係長(柳沢)、山本分館長(田無)、三城分館長(谷戸)、長谷部分館長(保谷駅前)、星野事業係主査
欠席者	三沢英俊、中嶋太
議題	1 審議事項 (1) 令和4年度第1回定例会会議録(案)について 2 主催事業について (1) 令和3年度公民館主催事業報告について(資料1) (2) 令和4年度公民館主催事業計画について(資料2) (3) 利用者懇談会について(資料3) 3 報告事項 (1) 行政報告 (2) 公民館だより編集室報告 (3) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告 4 事務連絡及び情報交換 (1) 西東京市教育計画策定懇談会委員の推薦について (2) 令和4年度第2回定例会の開催について (3) その他
会議資料の名称	【配布資料】 資料1 令和3年度公民館主催事業報告書 資料2 令和4年度公民館主催事業計画書 資料3 利用者懇談会報告
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input checked="" type="checkbox"/> あり(3名) <input type="checkbox"/> なし
会議内容	<p><b>1 審議事項</b></p> <p>(1) 令和4年度第1回定例会会議録(案)について</p> <p>●令和4年度第1回定例会会議録(案)については、各自内容を確認し、1週間以内をめぐりに修正意見を公民館に送ることとする。</p> <p><b>2 主催事業について</b></p> <p>(1) 令和3年度公民館主催事業報告について(資料1)</p> <p>○A委員</p> <p>現代社会を考える講座「戦後のはじまり」から「いま」を考える～歴史に学ぶ現代社会のしくみ～(柳沢)について。以前から戦争や歴史に取り組んできた講座だが、参加者の感想を読んで、講座での学びと現在をリンクさせて丁寧にとらえていると感じた。参加者が多いことにも驚いたが、このような講座が西東京市公民館の講座の中に根付いてほしい。</p> <p>オンライン開催の教養講座「コロナ禍で新たなライフスタイルを考える～キャンプの魅力を知る編～」(柳沢)について。新しい取り組みで、諸事情により参加者が少なかったことは残</p>

念。しかし、子育て中の女性から、参加しにくい時間帯であったが、前日から子どもとスケジュールを共有するなどの準備をして参加できたという感想を得られたことは収穫だと思う。これからも、この講座の広がりを深めていってほしい。

○B委員

教養講座（柳沢）について、参加者4人というのはもったいない。40代までを対象としていたため、50代前半の希望者をお断りしたとのことだが、受講可能にできなかったのかと思う。

○事業係長

対象として現役世代を考えていたので、20代から40代までに対象を限定して募集した。当初、60代、70代の方からの申し込みをお断りした経緯もあり、50代の方についても複数、断った。これは反省点で、今後は、現役世代対象なので、40代で区切らず、50代も参加できるようにしていきたい。

○C委員

教養講座（柳沢）について、現役世代を呼び込みたいという意図があったと思うが、年齢制限はしない方がよかったのではないかと感じた。

子育て中の外国人女性のための日本語講座（柳沢）について、参加しやすい工夫は特になくしているが、報告書を読むといろいろな工夫がされていると感じた。

ムービールーム柳沢（柳沢）は好評であることがわかった。

現代社会を考える講座（柳沢）や地域防災講座「災害時にだれも孤立させないまちづくりを考える《総集編》」は、前年度の講座の参加者が次年度の講座の準備、企画に入ることが、効果的に活かされていると感じた。

○D委員

教養講座（柳沢）について、応募状況によって柔軟な対応はできなかったのか。

○事業係長

現役世代を対象として考えているので、夜間のオンライン開催という形式は継続するが、実施時期等については、検討したい。

○D委員

地域づくり未来大学～地域を豊かにするための第一歩～（柳沢）について、地域づくりのための第一歩をめぐってどのような意見が出たか、また、この地域の豊かさについてどのような話し合いがされたかについて、知りたい。

○事業係長

最終的に4グループに分かれて、それぞれ、フードロス、情報発信、高齢者の居場所、ヤングケアラーをテーマとした企画書を作成した。

○E委員

子育て中の外国人女性のための日本語講座（柳沢）について、コロナ禍ということもあり、参加者数は多くなかったが、社会教育では、参加者数等のアウトプット評価だけでなく、成果をみるアウトカム評価という考え方がある。報告書に受講者が展示物を作成してヤギフェスで展示したとあるが、これは地域における多文化共生の実践。このような関係やつながりを大切にしてほしい。

ムービールーム柳沢（柳沢）は、目的をきっかけづくりとしているが、参加した人のその後の動きが何かあれば教えてほしい。

○事業係長

ムービールーム柳沢（柳沢）については、公民館への入口になっているのが現状。参加をきっかけに次にどのような展開ができるかは今後の課題。

○G委員

ムービールーム柳沢（柳沢）について、上映作品選定の基準はどうなっているのか。

○事業係長

契約先の業者が作成した上映の許諾を得ている作品リストの中から、様々なジャンルからバランスよく選んでいる。

○H委員

教養講座（柳沢）について、例えば、自分と同じような境遇の人たちが集まるから参加するなど、年齢層が定められているから参加しやすいということもある。必ずしも年齢制限をしない方が多くの方が参加するとは限らないと思う。

○事業係長

教養講座（柳沢）については、オンライン開催でキャンプを取り上げるので、多数の申し込みがあることも予想された。キャンプをきっかけに現役世代が同年代の参加者と話し合い、ライフスタイルを見つめ直すことを大切にしたいので、対象年齢を限定した。年齢層を広げても、このような講座のねらいは可能だろうか。助言をいただきたい。

○C委員

募集の際に、現役世代を対象としていて、話し合いも行うという講座の趣旨を明確にしており、対象外の方に、そのことを理解した上で参加していただくとよいのではないかと。

(2) 令和4年度公民館主催事業計画について（資料2）

○I委員

教養講座「ドキュメンタリー映画作家佐藤真を知る」（ひばりが丘）について、2人の講師が交渉中となっているが、まだ決まっていないということか。

○事業係長

スケジュールの確認中で講師からの返事を待っている。

○I委員

森まゆみさんは『谷根千』を編集・発行していた方で、地域活動について造詣が深く、公民館活動についても有益なお話をうかがえるのではないかと。とてもよい企画なので、期待している。

○J委員

事業計画書の事業目的・事業内容欄の書き方が館によって異なるが、今後、統一していくのか。

○事業係長

分館長会議等で検討したい。

○C委員

従来の書き方がわかりやすい。

○E委員

女性のための講座（保育付き）「自分らしさを大切に楽しく子育て・自分育ち」（田無）では、女性史がテーマの回は公開講座となっている。教養講座（ひばりが丘）についても、森まゆみさんのようなビックネームの方が講師の回は、公開講座にして対象を広げてもよいのではないかと。公民館に足を運ぶきっかけにもなると思う。

○A委員

社会問題講座「不登校の子どもたちと共に歩む社会」（保谷駅前）について、対象が不登校の児童・生徒の保護者となっているが、事業目的・事業内容には、「不登校の子どもたちと共に歩む地域をどうつくっていくかを考え合う」とある。講座内容を見ると、不登校の子どもをもつ保護者対象のものと、支える人たちを対象としたものが混在している。講座は、不登校の子どもをもつ保護者向けのものなのか、その人たちを核に地域にひろがりをもったものなのか。

○分館長（保谷駅前）

当事者だけでなく広く関心がある市民にも参加してほしいと考えているが、今までの講座もほとんどの参加者が当事者や関係者となっている。

○A委員

継続的に参加している方たちがいて、居場所づくりを考える講座と理解してよいか。

○分館長（保谷駅前）

今までの講座の参加者のほとんどが当事者、関係者。

○C委員

今までこの講座に参加してきた方たちには、どうしたらより多くの人たちと問題を共有化できるだろうかという思いがあると理解した。今回、提出された計画書は、そこに向けて工夫した内容なのか、それとも、まだどのように工夫したらよいかつかめていないのか。それがわかると、公運審委員もアイデアを出せるのではないかと。

○E委員

事業の目的は何なのかということ。広く多くの方に理解してもらおうのか、当事者の親たちが

集まって話をする場なのかが、整理されていない。不登校の子どもと共に歩む地域をつくるのであれば、広く参加を呼びかけ、そこに当事者の親たちが働きかけるということはある。しかし、当事者の親たちが内向きに話しあう場だと、参加しようとしても参加しにくい。共催事業なので、共催相手の市民団体と公民館が丁寧に話し合っ目的を明確にすると、対象や呼びかけもはっきりしてくるのではないか。

○J委員

事業計画書では対象は不登校の子どもをもつ保護者となっているが、講座の内容をみると、不登校の子どもやその保護者が参加して何か情報等を得る機会にはなっていないと思う。事業目的を見ると対象は市民。講座の意図の不明確さはそこにある。対象を少し考えてみた方がよいと思う。

○C委員

子育て中の外国人女性のために日本語講座（柳沢）の受講者が、ヤギフェスで展示を行ったと報告書にあったが、可能であれば、駅前フェスタ等で、不登校に取り組む団体の活動紹介をすることを考えてみてはどうか。

○分館長（保谷駅前）

検討したい。

○D委員

保谷駅前公民館で不登校の子どもの親の会が開かれているということだが、そのような会がたくさん開かれるようになるとよい。さらに、そのような会の人たちを組織して、地域の人たちも参加できる公民館事業ができるとよい。

○K委員

計画書に文部科学省の令和2年度児童生徒の問題行動調査の中で不登校が取り上げられているとある。つまり不登校は問題行動とされているということ。そのような中で、当事者が地域に出てくるのはすごいこと。講座が不登校の子どもをもつ親の語りの場でもよいと思う。ファシリテーターがいれば、よい会になる。ぜひ続けてほしい。

○A委員

サロンコンサート～クラシック音楽で夏の思い出を～（芝久保）について。芝久保公民館に移された旧西東京市民会館のコンサートピアノを活用して行われるということで、長く田無地域の文化活動を支えてきた市民会館のピアノが生き残っていることがわかり、嬉しかった。歴史をつなぐ形でピアノが活かされるとよいと思う。

### (3) 利用者懇談会について（資料3）

●公民館より、3月開催の利用者懇談会（田無公民館は4月開催）について報告

○I委員

芝久保公民館の利用者懇談会報告に参加者の意見として「子育て中のママや子どものための企画がもっとあればよい」とある。公民館は、全館で分担しながら計画的に事業に取り組んでいることは承知しているが、利用者の要望に添えてもらえると嬉しい。

○D委員

芝久保公民館の利用者懇談会報告を見ると、事業が少なくなっているという意見がある。どういうことか。

○分館長（芝久保）

今後、検討していきたい。

○B委員

谷戸公民館の利用者懇談会では、利用区分が4区分になったことに対して不満の声が出ている。4区分にしてよかったという声があるなら、教えてほしい。

○事業係主査

デルタ株による感染拡大が落ち着き利用が戻った今年の10月、11月の利用データをみると、利用率の高い柳沢公民館では、活動時間帯を第3区分に移した団体があること、平成30年度から4区分に変更した保谷駅前公民館集会室では第3区分の利用が定着していること、芝久保・谷戸・ひばりが丘公民館では、第2区分と第3区分を連続してとっている団体が多いことがわかった。4区分にしてよかったという声を直接聞いていないが、利用データからは、予約がとりにくかった館では活動時間帯を第3区分に移した団体があること、予約を比較的とりやすい

館では、連続して予約することで、3区分の時と同じ活動時間を確保している団体があることがわかった。

○分館長(田無)

田無公民館まつりで大人の演劇を見た小学生から活動に参加したいという申し出があったので、活動時間帯を第1区分から第3区分に変更した団体がある。夕方の時間帯は小中高生が利用できる時間帯である。

○B委員

3館の利用者懇談会に参加した。ひばりが丘公民館では職員とともに、毎回、警備職員が紹介される。他館でも取り入れてはどうか。

谷戸公民館では、防災関係の冊子を配布してくれた。避難経路や図書館の非常口の説明もあり、普段は利用できない避難通路を実際に通って確認することができて、とてもよかった

○司会

ここからは、利用者懇談会についての意見交換を行いたい。

○C委員

利用者懇談会は公運審で各館の事業や公民館のことを話し合っていることを知ってもらう機会になるのではないかと。また、公運審委員もかかわりながら、各館で公民館と利用者が館の運営や事業について話し合う機会にしていくこともできるのではないかと。みなさん、忙しいと思うが、何ができるか、どんな工夫ができるか、みんなで考えると面白くなるのではないかと。

○J委員

前期(第10期)の時に、公運審は市民の意見を本当に反映しているのかと市民に問われたことがある。その時は、各館の利用者の中から公運審委員が1名選ばれていることが市民の意見を反映することになること、委員は利用者懇談会に参加して利用者の意見、要望を聞き、公運審の話し合いに反映させていることを伝えた。第10期公運審が作成したハンドブックでも、市民の声や要望を公民館の運営や事業に反映させるため、可能な限り利用者懇談会に参加するよう、委員になった人に呼び掛けている。

利用者懇談会を今後、どのように運営していったら、公民館をよりよくすることにつながるか、みんなで考えるとよいのではないかと。

○B委員

公民館を利用している、公運審のことを知っている人はほとんどいないと思う。私は、ひばりが丘公民館が分室になる前に数回開かれた利用者懇談会に参加して、公運審の存在を知った。公運審委員は公民館を利用しているみなさんと同じ立場で公民館の利用等について話し合っている一人の市民であると説明することから始めるとよいと思う

○D委員

公運審委員になって4年目だが、昨年、初めて駅前フェスタの実行委員会に参加して、いろいろなことを体験した。市民のエネルギーも感じた。公運審委員は、各公民館のまつり等の実行委員会に参加するとよいと思う。

○L委員

私も谷戸まつりにかかわって、地域のみなさんが力を合わせてつくりあげていくまつりはいいものだと感じている。

○A委員

今まで一利用者として利用者懇談会に参加してきたが、公運審委員としての参加はどのようなものなのか。市民の代表として公民館のことを職員と一緒に考えていることを知ってもらうことは必要なこと。利用者懇談会は公運審のことを知ってもらう機会なので、堅苦しくなく、あいさつをすることが第一歩ではないかと思う。

○C委員

市民から見て、公運審が偉そうに見えるのはよくないと思う。公運審だから見えてくることを利用者とも共有し、一緒にしていると感じられるようになると思う。

かつて国分寺市の公民館運営審議会委員をしていた時、公民館まつりに公運審として参加し、催しをしたことがある。市民に公運審に関心を持ってもらう工夫はいろいろあると思う。

○J委員

利用者懇談会について、どのように位置づけ、公運審がどのようにかかわっていったらよいかをみんなで話し合うことを提案したい。7月1日(金)午後7時から柳沢公民館で話し合う

機会を持ちたい。今期の課題として考え、提案できることは提案したい。都合がつく方は、ぜひ参加してほしい。

### 3 報告事項

#### (1) 行政報告

##### ○公民館長

市議会で公民館に関する一般質問はなかったが、子ども食堂に関する再質問の中で公民館が調理目的の施設利用を禁止していることについて質問があった。全国公民館連合会のガイドラインでは調理を禁止していないのに、いかがなものかという趣旨だった。西東京市では市長をトップとする対策本部で市の方針を決めており、市の公共施設について、一律、調理を禁止している。公民館については、近隣市の状況をふまえると、感染対策を講じた上で調理室の使用を再開することを検討する必要があると考えている。

#### (2) 公民館だより編集室報告

- 担当委員より6月6日開催の公民館だより編集室会議について報告。

#### (3) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告

- 担当委員より、令和4年度東京都公民館研究大会が2月4日(土)に開催される予定であること、委員部会第1回研修会が10月1日(土)午後に開催される予定であること等を報告。

### 4 事務連絡及び情報交換

#### (1) 西東京市教育計画策定懇談会委員の推薦について

- 公民館運営審議会として、推薦する委員を決定。

#### (2) 令和4年度第3回定例会の開催について

日時：令和4年7月20日(水)午後6時30分

場所：柳沢公民館 視聴覚室

#### (3) その他

- M委員より、田無公民館まつりについて報告。
- L委員より、谷戸まつりの記録誌が完成したことを報告。